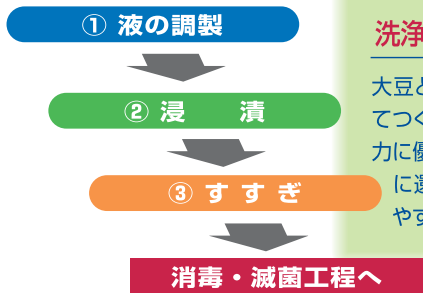


医療用具・器具用 酵素系浸漬洗浄剤

アセザイム[®]

天然界面活性剤(ソホロリピッド[®])、
 蛋白分解酵素(プロテアーゼ)、酸素系漂白剤 配合

標準的な使用方法



洗浄成分のソホロリピッド[®]とは

大豆と糖を原料にして酵母で発酵させてつくった天然の界面活性剤です。洗浄力に優れ、高い生分解性ですばやく地球に還ります。また、低起泡性で作業しやすく、洗浄後のすすぎ性も良好です。

● 高い洗浄力：

天然界面活性剤(ソホロリピッド[®])、アルカリ剤、蛋白分解酵素(プロテアーゼ)の相乗効果により、汚れを素早く分解し除去します。合成界面活性剤は使用していません。

● 自己消菌性：

洗剤溶液中の汚れと共に持ち込まれた微生物の増殖を抑制します。

● 生分解性：

ソホロリピッドは優れた生分解性を有しており「環境中で容易に生分解される物質(易生分解性物質)」であることが確認されています。

● 低起泡性：

泡沫が少ないので作業しやすく洗浄後のすすぎ性も良好です。

● 低腐食性：

医療器具に汎用されているステンレス、アルミニウムに対する腐食性はほとんどありません。

使用量の目安：

10L液	50g (一袋)
5L液	25g (一袋)
1.5L液	8~10g (キャップ計量)



JANコード 49-87696-42235-3
 容量 50g×20包 1梱入数 10
 サイズ W114×D115×H152mm



JANコード 49-87696-42236-0
 容量 25g×20包 1梱入数 10
 サイズ W87×D105×H120mm



JANコード 49-87696-42237-7
 容量 500g 1梱入数 4×6
 サイズ W80×D52×H185mm

1 高い洗浄力

汚れの付着強度（汚染直後、乾燥、熱変性）の違いが、**アセザイム**の洗浄力に与える影響を調べました。

<方法>

汚れ付着強度のレバー汚染布に実用濃度（**アセザイム**：0.5%）の試験液で浸漬洗浄した後、すすぎを行い、洗浄前後の反射率を測定することにより洗浄率を算出しました。

● 汚れ付着強度

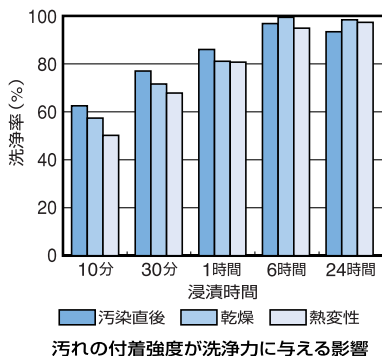
① 汚染直後：汚染液に浸漬直後の汚染布

② 乾燥：汚染液に浸漬後、一晩乾燥した汚染布

③ 熱変性：汚染液に浸漬後、93℃で30分間の熱処理を行った汚染布

<結果>

アセザイムは、汚染直後の汚れの場合は10分の浸漬で、乾燥や熱変性した汚れに対しても、浸漬時間を延長することで除去可能であると判断されます。



2 自己消菌性 (Self Disinfection) 溶液中に持ち込まれた微生物の増殖を抑制する作用

各種細菌に対する**アセザイム**の自己消菌性について調べました。

<方法>

乾燥ブイオンを添加した**アセザイム**の0.5%水溶液（実用濃度）に菌を接種し、37℃で24時間保存後の残存菌数を測定しました。

<結果>

浸漬洗浄を行う場合、汚れとともに持ち込まれた微生物（細菌）は酵素洗浄液中で増殖し、時間が経過すれば（例えば一晩）、洗浄液は菌液ともなりかねません。

アセザイムには自己消菌性があり、そういった危険性は大幅に軽減されると思われます。

アセザイム溶液中における各種細菌の生残性 (0.3%乾燥ブイオン添加)

試験菌	初期菌数 (CFU/mL)	残存菌数 (CFU/mL)
MSSA (<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC25923)	2.7×10^7	N.D.
MRSA (<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC700698)	5.4×10^8	N.D.
腸球菌 (<i>Enterococcus faecium</i> ATCC6569)	7.0×10^7	N.D.
大腸菌 (<i>Escherichia coli</i> ATCC25922)	2.9×10^8	N.D.
セラチアA (<i>Serratia marcescens</i> ATCC14758)	1.3×10^9	N.D.
セラチアB (<i>Serratia marcescens</i>)	3.4×10^8	N.D.
肺炎桿菌A (<i>Klebsiella pneumoniae</i>)	2.7×10^8	N.D.
肺炎桿菌B (<i>Klebsiella pneumoniae</i> ATCC4352)	5.1×10^8	N.D.
緑膿菌 (<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC27853)	1.4×10^8	N.D.
セバシア菌 (<i>Burkholderia cepacia</i>)	6.1×10^8	N.D.

N.D. : 検出されなかった。

3 低腐食性

ステンレススチールとアルミニウムに対する腐食性を調べました。

<方法>

金属テストピースを**アセザイム**の0.5%水溶液（実用濃度）に浸漬し、50℃で7日間放置し、重量変化による腐食速度を測定しました。

<結果>

医療器具には、鉗子、はさみ、ピンセットなど硬度なマルテンサイト系ステンレス製のもの (SUS420J1やSUS420J2) と注射針など耐食性に優れたオーステナイト系ステンレス製のもの (SUS300系) があります。**アセザイム**は、これらステンレススチールに対し、腐食は認められなかったことから、広範な医療器具に使用できます。

アセザイムにおける腐食性試験結果

試験金属	水道水			蒸留水		
	腐食速度 (g/m ² /day)	金属表面の変化	溶液の変化	腐食速度 (g/m ² /day)	金属表面の変化	溶液の変化
ステンレススチール (SUS420J2)	0	変化なし	変化なし	0	変化なし	変化なし
ステンレススチール (SUS430)	0	変化なし	変化なし	0	変化なし	変化なし
ステンレススチール (SUS304)	0	変化なし	変化なし	0	変化なし	変化なし
アルミニウム	0	変化なし	変化なし	0	変化なし	変化なし

【成分】 界面活性剤 (1%、ソホロリピッド)、アルカリ剤 (炭酸塩、ケイ酸塩)、漂白剤、酵素

【用途】 医療用具・器具の浸漬洗浄。機械洗浄用 (噴射型及び超音波)。

【適用できる器具】 外科手術用器具、産科・泌尿器科用器具、歯科用器具又はその補助器具、ガラス製器具、体温計及びプラスチック製器具等。
ステンレス、アルミニウムに対する腐食性はほとんどありません。

【注意を要する材質】 鉄、銀、銅に対しては使用しない。

【使用上の注意】

- 用途以外には使用しない。
- 子供の手の届かないところに保管する。
- 作業時はゴム手袋を着用する。
- 他の洗浄剤、殺菌剤と混ぜない。
- 開封時に粉が飛び出す恐れがあるので注意する。
- 熱湯では使用しない。(50℃までの温水を使用する)
- 使用後は手を水でよく洗い、クリーム等で手入れをする。

【応急処置】

- 眼に入った場合、直ちに流水で15分以上洗い流す。手当てが遅れると眼を傷める恐れがある。
- 皮膚についた場合、直ちに水で十分に洗い流す。
- 飲み込んだ場合、直ちに多量の水、牛乳や生卵を飲ませる。無理に吐かせないで、速やかに医師に相談する。

詳しくは、「**アセザイム製品情報**」をご覧ください。

■ 製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。 ■ 写真及び印刷の仕上がりが上、現品と色合いが若干異なることがあります。

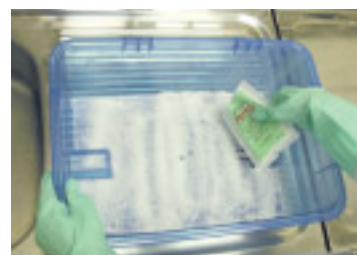
使用方法 (浸漬洗浄)

① 液の調製

① 医療用具・器具が完全に浸漬できる容器を用意する (各種専用浸漬槽：別売)。

② 本品を浸漬できる容器の底面全体にムラなく撒く。

● 10L液を調製する場合：50g (1袋)
(5L液：25g (1袋)、1.5L液：キャップで8~10g計量)



③ 10L液を調製する場合

10Lの水または湯 (50℃まで) を入れ、よく溶かす。

(5L液の調製：5Lの水または湯)
(1.5L液の調製：1.5Lの水または湯)

● **アセザイム**液は、最低1日1回必ず交換してください。



● 水溶液は白濁します (水不溶分が1.2%以下含まれているため) が、性能上、問題ありません。

② 浸漬

④ 10分浸漬する。

● 汚れが乾燥固化している場合は、浸漬時間を延長してください。



③ すすぎ

⑤ 浸漬後の医療用具・器具は流水ですすぐ。



消毒・滅菌工程へ

SARAYA

代表 TEL.06-6797-2525 <http://www.saraya.com/>

取扱店

PRINTED WITH SOY INK
天然植物油・大豆油インキで印刷しています
古紙配合率100%再生紙を使用しています

43-0625-02-4